

令和2年度 第1回 学校運営協議会書面開催 ご意見等のまとめ

【学校目標等について】

- ・「プログラム教育推進校」第Ⅱ期指定が、有効に推進されることに期待します。
- ・「総合的な探究の時間」、特に課題研究発表会は大変すばらしいものであり、継承してほしいと思います。様々な充実した教育活動を展開している御校の活気を、継続してほしいと思います。
- ・課題研究発表会、昨年見学し感銘を受けました。今年も期待しています。
- ・地域行事の桜まつりや大沢地区のさまざまな行事の運営補助等に協力参加することで、いろいろな人と繋がりをつくるのが大切だと思います。地域に貢献することで、教育活動が理解され、信頼感が高まると思います。
- ・今まで喜校が地域の中にかかわってきた功績は大変大きいものがあり、2022年には統合されることを、大変残念に思っております。残りの年月、地域に愛されてきた相総の集大成となるような学校運営が行われるよう心から願っております。
- ・素晴らしい取組をこれまで以上に発信していくためには「評価の観点」をどのように設定するかがとても大切だと思います。個々の取組後に満足度について生徒対象の簡単なアンケートを実施するのも一案と思います。その結果を校内評価に反映したり、「評価の観点」に取り入れたりすることも可能になると思います。
- ・生徒が、自分自身の将来を選択し進みだす為に必要となるべく自分力を強くする教育に期待します。

質問

- ・「教育課程・学習指導」の目標の取組を推進していくためには、先生がたの共通理解がとても大切と思いますが、どのような機会にどのようにして先生方の共通理解を深めていくかについて教えていただきたい。
- ・グランドデザインにあるプログラム教育の中に、「政治的教養の教育の推進」とありますが、18歳選挙権、18歳成人等も含まれた内容のものなのでしょうか。
- ・生徒指導・支援の中にある、2人担任制のメリット・デメリット、チューター制の内容をお聞きしたい。

【その他】

- ・他校の例では新校移行前に定員割れをすることが少なくありません。今年度相模原総合高校が募集定員どおり 240 名の新入生を迎えられたことは、これまでの取組が中学生、保護者、地域から高く評価されていることの証であると思います。
- ・令和 5 年 3 月に完校を控えていることでの学校経営の難しさもあると思います。そのような中、「すべての生徒に『相総で良かった』という気持ちで卒業してもらおう」という分かりやすい目標が示されることによって、先生が一丸となって生徒さんの指導や支援を行うことができると思います。
- ・長い休校で、カリキュラムの変更や行事等の縮小・中止などが予想されます。生徒さんたちが「ワクワク」「ウキウキ」を感じられるような手立てや「自己主張・自己表現」のできるような場の設定を考えてほしい。